

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

運輸サービスグループ

2020年3月期の概況

運輸サービスグループの営業収益は前期比4.5%減の1,737億30百万円、営業利益は前期比27.6%減の198億48百万円、EBITDAは前期比13.9%減の295億63百万円となりました。

営業収益及び営業利益は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による鉄道旅客運輸収入の減などにより減収・減益となりました。

連結子会社

豊肥本線高速鉄道保有株式会社^(※)

JR九州バス株式会社

JR九州高速船株式会社

JR九州サービスサポート株式会社

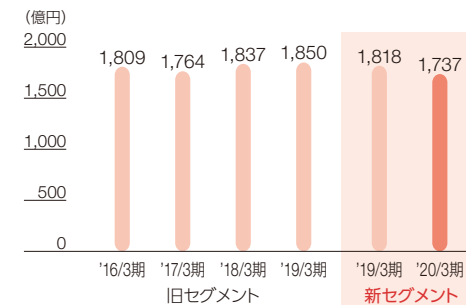
JR九州リネン株式会社

(※) 議決権の所有割合は100分の50以下ですが、実質的に支配しているため連結子会社としております。

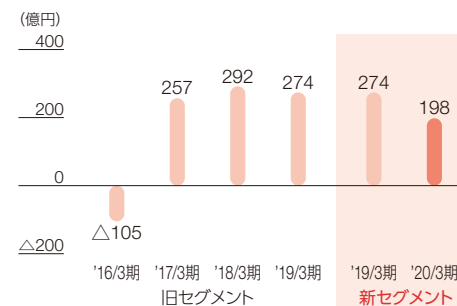
(2020年7月1日現在)

セグメント別
構成比
38.4%

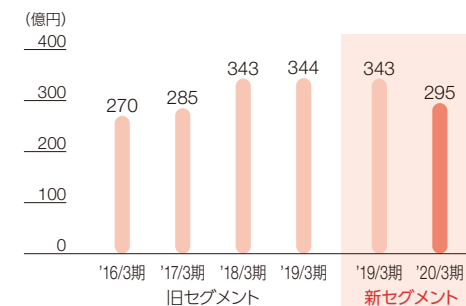
営業収益



営業利益



EBITDA



はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

運輸サービスグループ

2020年3月期の取り組み

安全とサービスを基盤とした事業運営を行うとともに、九州新幹線を基軸としたネットワークを最大限に活用し、お客さまの視点に立った営業施策を実施することにより収入確保に努めました。

「新幹線」、「近距離」、「インバウンド」の主力分野の収益力向上に加えて、鉄道の魅力を活かしたまちづくりを推進しました。九州新幹線については、2019年5月より『Go! Waku Waku Trip with MICKEY』プロジェクトを展開し、利用促進を図りました。また、2019年7月より「熊本デスティネーションキャンペーン」及び、これにあわせた「熊本フォーリンラブ」観光キャンペーンを開催し、熊本エリアへの重点送客を図りました。「JR九州インターネット列車予約サービス」については、インターネット限定商品の充実やキャンペーンの実施等により、ネット利用へのシフトを推進しました。また、インバウンド需要を取り込むため、「JR九州レールパス」の専用予約サイト「JR KYUSHU RAIL PASS Online Booking」における直接販売及び指定席事前予約サービスのほか、2019年10月より中国最大規模のオンライン旅行会社Ctripと連携を開始する等、台湾、香港、中国、韓国を中心としたそれぞれの国及び地域に適した情報発信や販売促進を図りました。さらに、全日本空輸（株）との観光振興強化に向けた連携や各種プロモーションにより、クルーズトレイン「なつ星in九州」や11のD&S列車をはじめ、九州の自然・食・温泉・歴史文化・沿線地域の方々によるおもてなしなど、九州ブランドの認知度向上と九州への誘客促進に取り組ましました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出の自粛等の影響により、第4四半期において当社の鉄道旅客運輸収入が大幅に減少しました。なお、感染拡大防止の観点から、九州新幹線や特急列車は3月20日以降、高速バスについては3月21日以降、それぞれ一部の便を運転休止しました。また、高速船については、日本及び韓国政府による水際対策の強化に伴い3月9日以降、全便を運航休止しました。

鉄道事業の今後の取り組み

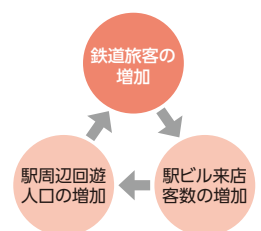
新たなモビリティサービス(MaaS)への挑戦

2020年3月期においては、西日本鉄道（株）、第一交通産業（株）との業務提携契約を締結しました。また、3月のダイヤ改正では、西日本鉄道（株）と協働し、列車とバスの相互の情報案内を強化することで、シームレスな乗り継ぎを目指す取り組みをJR下曾根駅で開始しました。今後は、由布院地区及び宮崎県において、アプリを使った実証実験を計画しています。引き続き利便性の高いサービスを提供することで、公共交通機関を利用するお客さまの創出・確保を目指した取り組みを推進していきます。



持続的な鉄道サービスの構築

「近距離」、「インバウンド」、「新幹線」の主力分野の収益力向上の取り組みを更に強化することで、鉄道を多くのお客さまにご利用いただき、駅周辺事業を牽引するビジネスモデルによる収益拡大を図っていきます。



近距離	駅周辺開発による沿線人口を増やす施策の推進
インバウンド	福岡空港の滑走路処理能力の向上施策を背景とした、インバウンド需要の更なる取り込み
新幹線	都市間移動並びにD&S列車と提携したビジネス、観光需要を創出、促進

TOPICS

自動列車運転装置の走行試験を実施

自動運転の実現に向けて、ATS-DKをベースとした自動列車運転装置の開発に取り組んでいます。2019年12月から、開発の一環として走行試験を行い、車両の制御機能（加速・惰行・減速・定点停止等）や運転時分、乗り心地などを確認し、その技術検証を行いました。



豊肥本線的全線復旧

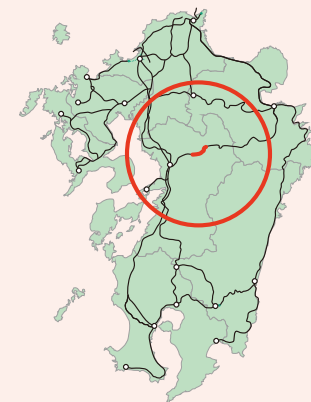
2016年4月の熊本地震で被災した豊肥本線については、大規模な斜面崩壊を受け、肥後大津～阿蘇間で不通となっていました。復旧工事が完了し、2020年8月8日に全線で運転を再開しました。



復旧前



復旧後



はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

不動産・ホテルグループ

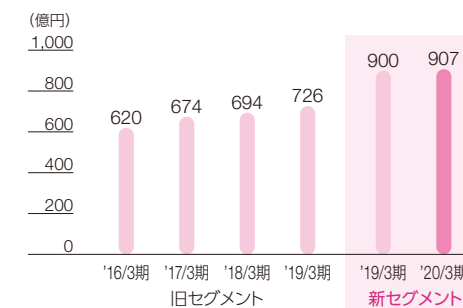
2020年3月期の概況

不動産・ホテルグループの営業収益は前期比0.8%増の907億79百万円、営業利益は前期比24.8%減の191億37百万円、EBITDAは前期比14.1%減の305億95百万円となりました。

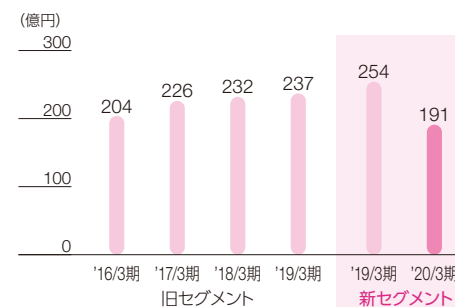
営業収益は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による収入減はあったものの、新規ホテル開業などにより増収、営業利益は租税公課の増加などにより減益となりました。

セグメント別
構成比
20.0%

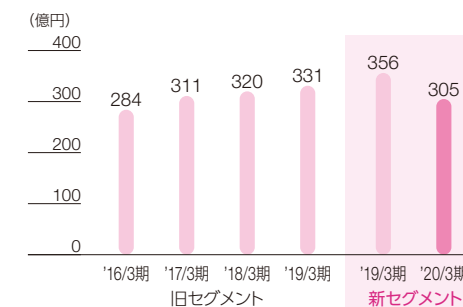
営業収益



営業利益



EBITDA



連結子会社

株式会社JR博多シティ
株式会社JR小倉シティ
株式会社JR長崎シティ
株式会社JR大分シティ
株式会社JR熊本シティ
株式会社JR鹿児島シティ
株式会社JR宮崎シティ
JR九州ビルマネジメント株式会社
JR九州レンタカー&パーキング株式会社
JR九州シニアライフサポート株式会社

JR九州ハウステンボスホテル株式会社
JR九州ホテルズ株式会社
JR九州ステーションホテル小倉株式会社
株式会社おおよま夢工房
JR Kyushu Business Development (Thailand) Co., Ltd.
JR九州駅ビルホールディングス株式会社
JR Kyushu Capital Management (Thailand) Co., Ltd.
JR九州ホテルズアンドリゾーツ
ホールディングス株式会社

(2020年7月1日現在)

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

不動産・ホテルグループ

2020年3月期の取り組み

不動産賃貸業においては、2019年3月、小倉駅に開業した飲食エリア「小倉宿 駅から三十歩横丁」の積極的な営業活動を行うとともに、2019年春に「アミュプラザ博多」、2019年秋に「アミュプラザ鹿児島」のリニューアルを実施したほか、各駅ビルの駅前広場等を活用した積極的なイベント展開を行い収益拡大に努めました。

不動産販売業においては、分譲マンション「MJRザ・ガーデン鹿児島中央」や「MJR姪浜駅南」等を売上に計上したほか、「MJRザ・ガーデン上熊本駅前」や「MJRザ・ガーデン宮崎駅前」等の販売に取り組みました。

ホテル業においては、最上位ブランド「THE BLOSSOM」を創設し、2019年8月に「THE BLOSSOM HIBIYA」、9月に「THE BLOSSOM HAKATA Premier」を開業するとともに、既存ホテルのレベニューマネジメントを強化し、収益拡大に努めました。

また、2019年4月にガバナンスの強化、スケールメリットを活かした営業力強化や経営効率化及び人材育成力の向上を目的として、駅ビル会社及びホテル会社を統括する中間持株会社をそれぞれ設立しました。

しかしながら、第4四半期において、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出の自粛等の影響により、駅ビル及びホテルのご利用が落ち込みました。なお、感染拡大防止の観点から各駅ビルの営業時間短縮を実施しました。

今後の取り組み

拠点地域の戦略的まちづくりへの投資を通して沿線人口を増やす取り組みを実施していきます。

宮崎駅西口開発

2020年11月開業予定
用途：商業（駅ビル等）、オフィス等
敷地面積：約7,300㎡
延床面積：約37,700㎡



熊本駅周辺開発

2021年春開業
用途：商業（駅ビル等）、ホテル、オフィス、住居等
敷地面積：約70,000㎡
延床面積：約107,000㎡



長崎駅周辺開発

2023年部分開業、
2025年全面開業
用途：商業（駅ビル等）、ホテル、オフィス等
敷地面積：約18,000㎡
延床面積：約114,000㎡



福岡都市圏における開発

- 公募案件の取得による開発
 - ・箕子小学校跡地活用事業
 - ・福岡東総合庁舎敷地有効活用事業



● 博多駅空中都市構想

博多駅線路上空を立体的に活用する「博多駅空中都市構想」の実現に向けた検討を開始

TOPICS

「THE BLOSSOM」ブランドの2つのホテルが開業

JR九州ホテルズが運営する宿泊主体型ホテルにおける最上位ブランドである「THE BLOSSOM」を創設し、「THE BLOSSOM HIBIYA」を2019年8月に、「THE BLOSSOM HAKATA Premier」を2019年9月に開業しました。



小倉宿 駅から三十歩横丁の開業

(株) JR小倉シティが運営するアミュプラザ小倉東館1階に2019年3月に「小倉宿 駅から三十歩横丁」を開業しました。小倉駅の改札口からすぐの広々としたオープンスペースのフロアに魅力的な8つのお店がラインナップしています。



はじめに
ダイジェスト

財務・非財務
ハイライト

価値創造の歴史
価値創造プロセス

社長メッセージ
CFOメッセージ

中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス

安全・サービス
人づくり

地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報

会社概要
投資家情報

建設グループ

2020年3月期の概況

建設グループの営業収益は前期比5.9%増の993億85百万円、営業利益は前期比4.6%増の65億80百万円、EBITDAは前期比5.8%増の76億89百万円となりました。

営業収益及び営業利益は、新幹線関連工事の増などにより増収・増益となりました。

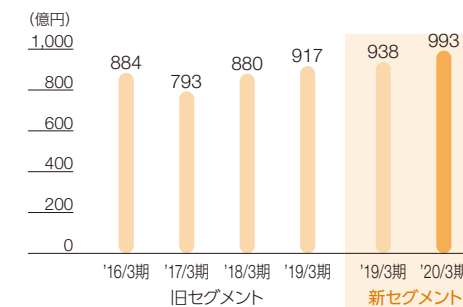
連結子会社

九鉄工業株式会社
三軌建設株式会社
JR九州住宅株式会社
JR九州エンジニアリング株式会社
JR九州電気システム株式会社
JR九州コンサルタンツ株式会社

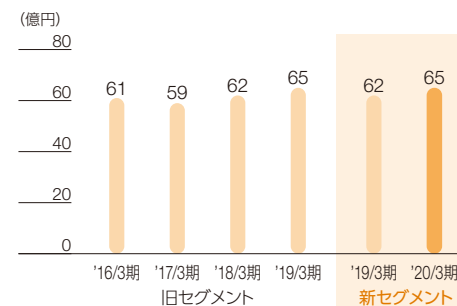
(2020年7月1日現在)

セグメント別
構成比
8.7%

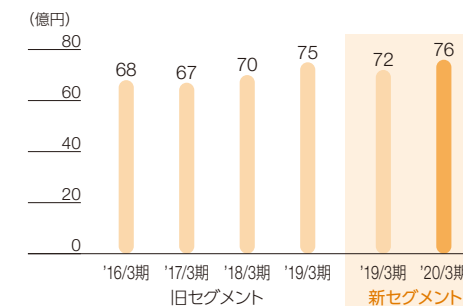
営業収益



営業利益



EBITDA



はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

流通・外食グループ

2020年3月期の概況

流通・外食グループの営業収益は前期比0.6%増の1,046億57百万円、営業利益は前期比17.2%減の28億25百万円、EBITDA は前期比11.8%減の44億79百万円となりました。

営業収益は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による収入減はあったものの、ファーストフード店舗の収入増などにより増収。営業利益は新規出店に伴う経費の増などにより減益となりました。

連結子会社

JR九州リテール株式会社

JR九州ドラッグイレブン株式会社^(※)

JR九州フードサービス株式会社

JR九州ファーストフーズ株式会社

株式会社トランドール

株式会社萬坊

上海捷尔餐饮管理有限公司

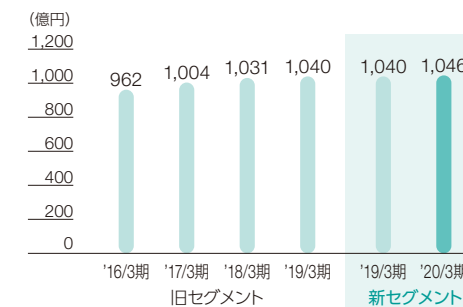
JR九州ファーム株式会社

(※)持分法適用関連会社

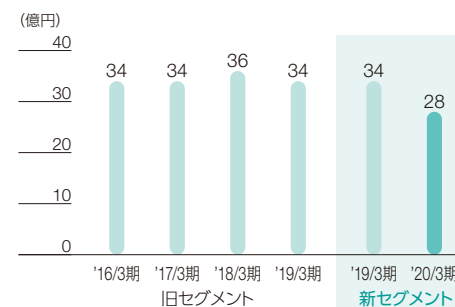
(2020年7月1日現在)

セグメント別
構成比
24.1%

営業収益



営業利益



EBITDA

